

ナフサショックによって不足・出荷制限・受注停止が起きている主な建築資材の一覧です。主に石油化学製品（プラスチック、ウレタン、ゴム、有機溶剤など）を原料とする基幹資材が直撃を受けています。

1. 躯体・外装・防水関連

□ウレタン防水材・アスファルト防水材：大手メーカーの新規受注停止が相次ぎ、大規模修繕や防水工事のストップ要因となっています。

□ルーフィング（屋根防水シート）：一時受注停止や割当制による出荷制限がかかり、価格も大幅に高騰しています。

□透湿防水シート：外壁下地に必須のシートで、供給制約が生じています。

□シーリング材（コーキング）：シリコン系・変成タイプともに、一部メーカーで新規注文が一時停止しています。

□窯業系・金属サイディング（外壁材）：原材料高騰による大幅な値上げと、それに伴う駆け込み需要で品薄傾向です。

2. 配管・電気・下地関連

□塩化ビニル管（塩ビ管）・継手：給排水や換気に欠かせないパイプ類全般で出荷制限や受注制限が続いています。

□雨樋（あまどい）：塩ビ製品のため、メーカーによる出荷制限や納期遅延が発生しています。

□配管用接着剤：塩ビ管を接合する有機溶剤系の接着剤そのものが深刻な不足に陥っています。

□各種養生・マスキングテープ：粘着剤や基材に石油由来成分が使われるため、現場での消耗品も手に入りにくくなっています。

3. 断熱・内装仕上げ関連

□発泡プラスチック系・ウレタン系断熱材：ボード系断熱材を中心に、メーカーが出荷制限や受注停止措置をとっています。

□建築塗料全般（溶剤系・水性）：外装・内装用の塗料が一時的な出荷停止や受注制限の対象となっています。

□塗装用シンナー・溶剤：塗料の希釈や洗浄に使う有機溶剤が最も深刻な不足を見せています。

□ビニルクロス（壁紙）・ビニル床材：塩化ビニルを原料とする内装材に納期遅延の波が及んでいます。

□床材・建具用接着剤：内装仕上げに不可欠な各種ボンド類が品薄です。

4. 住宅設備機器（住設）

□ユニットバス（システムバス）：浴槽の樹脂パネルや配管部品が確保できず、大手メーカーによる納期回答の停止や数ヶ月単位の遅延が発生しています。

□トイレ・衛生陶器：樹脂製の便座や内部の樹脂配管部品、リモコンなどの基板類の調達が滞り、納期遅延が生じています。

□システムキッチン・洗面化粧台：扉の化粧板（メラミン樹脂等）や、内部の配管パーツの供給が不安定になっています。